

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和5年1月26日（木）15:05
小倉北区役所 6階 教育委員会会議室

1 開 会

2 案 件

(1) 協議

協議①「北九州市立高等学校学則の一部改正について」

(指導企画課長)

(2) その他報告

その他報告①「公立夜間中学校設置基本計画（素案）に対する市民意見及び
学校名募集の結果について」

(企画調整課長)

その他報告②「令和3年度北九州市立図書館の運営に関する評価について」

(運営企画課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- | | | | |
|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 開催年月日 | 令和5年1月26日（木） | |
| 2 | 開催時間 | 15:05～16:45 | |
| 3 | 開催場所 | 小倉北区役所 6階 教育委員会会議室 | |
| 4 | 出席者 | (教育長) 田島 裕美
(教育委員) シヤルマ 直美、大坪 靖直、竹本 真実、郷田 郁子、
津田 恵次郎 | |
| 5 | 事務局職員 | 教育次長
中央図書館長
総務部長
教職員部長
学校教育部長
次世代教育推進部長
中央図書館副館長
総務課長
企画調整課長
教職員課長
中学校担当課長
指導企画課長
学校教育課長
生徒指導課長
運営企画課長
奉仕課長 | 古小路 忠生
柴田 憲志
小杉 繁樹
高松 淳子
高橋 英樹
澤村 宏志
金子 二康
久保 慶司
浜崎 善則
立花 昭一
竹永 政則
奥村 和美
藤井 創一
有田 勝彦
三ツ廣 託規
福田 淳司
増田 真二
栗林 奈津子 |
| 6 | 書 記 | 総務課庶務係長
総 務 課 | |
| 7 | 会議の次第 | 別紙のとおり | |

教育委員会(定例会)会議録（令和5年1月26日）

1 開 会

15：05 田島教育長が開会を宣言

2 会議録署名委員の指名

田島教育長が会議録署名委員に、竹本委員と郷田委員を指名。

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・協議①「北九州市立高等学校学則の一部改正について」
- ・その他報告①「公立夜間中学校設置基本計画（素案）に対する市民意見及び学校名募集の結果について」

3 案 件

(1) 公開案件

その他報告②「令和3年度北九州市立図書館の運営に関する評価について」

運営企画課長が報告。

〔報告要旨〕以下の項目について報告。

図書館法第7条の3の規定に基づき、北九州市立図書館の運営状況について評価を行ったため、報告するもの。

シャルマ委員／「北九州市子ども読書の日」の中で、「これまでにない視点でイベントを実施」の部分が興味深く、ボルダリング体験会や謎解きイベント、中学生によるビブリオバトルなど、趣向を凝らしたイベントなのかと思う。

11月に岐阜市の図書館を視察した時も、人が集まる「屋根の付いた公園」というキャッチフレーズで、「多くの人が集まれる場所」のための工夫を随所にされていた。北九州市においてはこうしたイベント等を実施することなのかなとまず思った、これまでにない視点について、教えていただきたい。

子ども図書館長／これまでにない視点での取組は、例えば、ボルダリングであり、昨年度は室内で行っていた。

今回、天候もよかったため、あえて屋外で行い、小倉城のほうから子ども図書館の正面の玄関が見渡せるような状況で、遠くの歩道を歩いている方も「何かやっている」と見えるような、「図書館で何をやっているんだろう」と目に留まる状況をつくりたいと思った。

昨年よりも高いボルダリングの壁を使ったため、これまで図書館にあまり縁のなかった方の目を引いて、誘い込むような結果になったかと思う。

また、昨年度も中学生に、ビブリオバトルでこのイベントに参加していただいたが、今年度は、それが3校同時にビブリオバトルの発表会となったこと、また地域の学校との連携ということで、中学校、市立高校とも連携して、読書部があるため、その生徒さんたちに参加していただいた。

また、北九州市立大学の学生さんたちにも発表の場を与え、日頃の取組について発表していただく形で、少しずつ、昨年よりも今年、また来年度に向けて、これまで図書館に足を運ぶ機会のなかった方にも目を向けていただけるような取組を進めていきたいと考えている。

シャルマ委員／いつも親しんでいる人にとっても楽しいイベントであったり、図書館に来たことがない人が来るきっかけになったりすればよいと思った。

そのような説明を聞くと、23ページ、子ども用トイレや授乳室の設置に関連して、幼児期から図書館がより親しみやすく、小学生を連れて来る時に、その下の子どもさんも一緒に連れて来ることもあると思うため、子ども用トイレや授乳室の設置が進むとよいと思った。

視察の時にも話題になったが、子どもが多く来ると、静かに本を読みたい人と、子どもが多く来ることにより、子どもの賑やかな声との共存など、様々な課題がありながらも図書館運営をなさっている、視察先の図書館の工夫を聞いて素晴らしいと思った次第である。

もう1点。中高生たちが、なかなか図書館に来館する数が減るという話があり、学習に来る人はいても、本を読むことから離れる時期に、視察先の図書館では、高校生たちが悩みを書いてポストに入れたら、司書が悩みに答えてそれを公開するというように、司書と中高生生の距離が非常に近づくような工夫をされている取組があり、非常に素晴らしいと思った。

また、その中で本を紹介したり、この本を読んだらどうかという紹介もしており、多くの本を読んでいる優秀な司書、また文章表現に長けた司書等多様な力のある方がいらっしゃると思うため、そのような方のお力も借りて、中高生が本に親しめたらよいと思った。

田島教育長／意見ということで承る。

郷田委員／全体に関してご説明いただき、非常に理解できた。

私も、先週、東京の武蔵野市の図書館を視察に行き、その際は、図書館単体ではなく、図書館施設であり、青少年が遊んだり勉強できるような施設、それからNPO法人や、地域の方が貸室として使えるような地域活動の施設という複合施設だった。

入った時に思ったのは、人が非常に多く、図書館と言うと、本を読みに来る方、本が好きな方が来る場所だと思うが、本に興味が強くない方も入って回遊する中で、本に触れるような仕組みができてきているのかと思った。

その中のお話であったのが、音の関係で、パソコンを打てる席と打てない席に分かれているが、パソコンを打てる席のほうから埋まるという話があった。やはり、様々な方が利用される時に、現在、ホームページなど、インターネット上で情報を得たり利用するので、Wi-Fi等の設備は非常に重要度が増しているのではないかと思う。その中で、今回、評価が両方ともDが付いていたため、そこは費用なども問題があるかと思うが、残念だなと思い、今後ぜひ進めていただきたいと思った。

先ほども、例えば外から見ていて、来られる方が増えるように、様々な方が交流する場として、とにかく貸出人数というのが評価軸に入っていると思うが、本を借りていないが通った人、とにかく触れてくれた人も評価されたりすると、より今後の、本に触れる人、図書館に触れる人を増やしていく位置付けになるのかと思った。何か重視する指標として、それらも入れてもよいのかと思った。

以上意見である。

整備が進まなかったのは、予算の関係などで理解したらよいか。

運営企画課長／整備が進まなかったのは、1つはコロナ禍で他の仕事に忙殺されたことが、令和2年度については非常に重い状態である。

また、令和3年度は正直申して、大雨、台風、また、それらに対する雨漏り修繕、去年の前半はほとんどそちらと、さらにコロナによる閉館、そちらに忙殺され、マンパワーが追い付いていなかった。

また、予算については、本来であれば計画的にすべきところだが、去年は今申したように、緊急的に発生した修繕工事が多くあり、そちらに予算を持っていったため、なかなか進まなかった。

郷田委員／様々な事情の中、運営いただき感謝する。

津田委員／今、郷田委員が言われたWi-Fiの、新規に整備していない背景に、予算を執行するという1つの仕組みがある。それが執行できない場合は、翌年度予算を確保することに対しては、なかなか大変な作業があると思うため、その辺りの事情を伺いたい。

そのような事情があった場合は、来年度は、予算の確保については、基本的には問題がないと考えてよいか1点、もう1点は、ホームページの見直しは毎年するものなのか、もし今年度は、ホームページは見直しを行う予定がなかったのであれば、このD評価は厳しいのではないか、その辺りの説明を少ししていただければと思う。

運営企画課長／Wi-Fiなどの施設整備の予算は、包括的に大きな予算を取っている部分があり、その中から随時執行するため、Wi-Fiだけ単独で予算として上げるようなことはしていない。

したがって、全体の予算の中で、その時々々の執行状況などは勘案しながら行っている。

実は今回、そのような批判が市民からも来ている。

Wi-Fiがあるところとないところ、また、教育委員会なので、学校、教育の現場でタブレット端末を配り、図書館に行ったらこれを繋げないというようなことも聞いており、その辺は私どもも反省した上で、こちらの改善措置に入れた。

また、私どもの図書館のホームページは令和元年度に完成し、予約ができる検索システムにもリンクできるようになった。

それまでは、図書館自体にホームページがなく、情報発信もできないということで、令和元年度に作成し、2年度から運用している。

さらに、その中に、いくつか図書館情報システムのデータとリンクしてトピックで上がってくるところもあるが、それ以外の情報発信というのがない。

現在、職員に熊本県、熊本市、福岡県、福岡市のホームページを定期的にウェブで見てもらい、情報を発信しているが、非常に厳しい状況が続いており、使いにくいという声もある。また、見にくいという声も、できた当初からある。

これからの状況としては、積極的に情報発信しようという流れがあり、教育委員会でもホームページを作成している。図書館協議会でも同じような話がでた。市民の声からもあるため、毎年様々な情報を発信することを考えていかなければならないということで厳しい評価だが、挙げさせていただいた。

(関係者以外退出)

(2) 非公開案件

協議①「北九州市立高等学校学則の一部改正について」

本議案の提案理由を指導企画課長が説明。

[提案理由要旨]

北九州市立高等学校学則の改正について説明。

協 議 終 了

その他報告①「公立夜間中学校設置基本計画（素案）に対する市民意見及び学校名募集の結果について」

企画調整課長が報告。

[報告要旨] 以下の項目について報告。

- ・公立夜間中学校設置基本計画（素案）に対する市民意見
- ・学校名募集の結果

報 告 終 了

4 閉 会

16:45 田島教育長が閉会を宣言